

## 『杏壇』の著作権について

『杏壇-Kyodan.com-』のホームページに掲載、あるいはダウンロードした文章・写真・イラスト等は著作権が存在し、各国の国内法による著作権法の保護対象になります。「複製」や「引用」をする際は著作者の承諾を得てください。

### 複製について

『杏壇』の文章・写真・イラスト等を複製する際は次の点に気をつけて下さい。

複製する場合は『杏壇-Kyodan.com-』に許諾が必要になります。連絡先等は下記に掲載しています。複製は私的使用の範囲に限られています。私的使用とは「個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること」とです。『杏壇Reports』や『杏壇の問題資料集』を使用人以上の人がダウンロードや印刷をしたり、必要以上にダウンロードや印刷することをです。『杏壇Reports』や『杏壇の問題集』では「印刷できない」「ダウンロードできない」というかたちで自主的に規制しています。印刷したい場合、有料にて承ります。

### 引用について

『杏壇Reports』を引用する際は次の点に気をつけて下さい。

引用する際は『杏壇-Kyodan.com-』に許諾が必要になります。連絡先等は下記に掲載しています。引用する際は引用部分をカギかっこでくくるなど、本文と引用部分を明確に区別して下さい。著作者の意図に反した変更・削除はできません。また文章の概要がわかる形で要約することもできません。「引用」する際、「出所の明示」が義務づけられています。引用部分と著作者名を挙げなければいけません。『杏壇Reports-Kyodan.com- 題名 』の表示が必要です。

### 連絡先について

『杏壇-Kyodan.com-』への使用許諾の申し込みは、メールのみで承っています。

『杏壇』プライバシーポリシー・著作権係までprivacy@kyodan.com

## 【事例】

ある母親が子どもを家庭教師に習わせたいと、  
家庭教師派遣会社に連絡をしました。

数日後、優しそうな学習アドバイザーと呼ばれる人が家庭に来ました。  
学習アドバイザーは、勉強を教えるという名目で子どもに近づきます。  
そして30分ぐらい勉強をしたところで、  
子どもがあたかもやる気を出しているようなことを親に伝えます。

「お子さんは今やる気が出ているみたいですねえ」  
と言うようなことを伝えてきます。

「しかしお子様の成績が振るわないみたいですね。  
このままだと高校は難しいかもしれませんね。

今やる気になっていることすし、  
勉強する時間をたくさんとりましょう」と言います。

お母さんは

『勉強できないから家庭教師にたくさん教えてもらおう。  
たくさん教えてもらったら、うちの子もできるようになるかも』と思いこみ、  
頻度の高く、授業時間の多い契約を結ぶことにしました。

そして契約を結んでから、  
学習アドバイザーから高額の料金のことを聞かされます。  
しかし後に引くことができずに契約することになります。

実際授業が始まると、子どもが「1回120分の授業は長すぎる」と言い出します。  
学習アドバイザーに相談すると、

「お子様のやる気を出させるのは今しかないんです。  
お母さんから説得してください」と逆に説得されたりします。  
子どものやる気はどんどん失われ、  
子どもは「授業がイヤ」と言い始めます。  
そしてますます子どものやる気はなくなってしまうんです。

## 【解説】

学習アドバイザーは心理的なテクニックを応用し  
(パブリック・コミットメント、一貫性のテクニック等)、  
子どもがやる気が出ているような錯角を親に与えます。  
軽い洗脳と言っても良いかもしれません。  
もちろん心理的なテクニックを応用しているだけなので、  
継続力がなく、一時的な効果でしかありません。  
学習アドバイザーが短時間で  
子どものやる気を引き出せることはまずあり得ません。

また『勉強できないから家庭教師(塾)でたくさん教えてもらおう。  
たくさん教えてもらったら、うちの子もできるようになるかも』  
と言うのはまたある意味合っています。  
しかしある意味間違っています。  
勉強ができない(ここでは公立小中学校の平均以下の成績)子どもが勉強が  
できるようになるには、一人で学習するより、  
家庭教師(塾)での勉強を増やすことが効率的だと思います。  
しかしそれは時間を単に増やすのではなく、  
集中させる頻度を増やすことが必要なんです。  
勉強ができない生徒と言うのは集中力も持続しなかったり、  
興味が他のことに向いていることが多いのです。  
それを無理矢理長い時間勉強に拘束させるのは、勉強嫌いになる元です。  
それより短時間の集中を繰り返した方が勉強します。  
つまり週2回 120分よりは週4回に60分の方が効率が良いんです。  
もちろん週4回60分というのは家庭教師を始める上で、  
日程的に無理な場合が多いでしょう。  
できたらせめて週2回60～90分から始めて欲しいです。  
そして時間が足りなくなってきたら、増やしていった方が賢明です。

## 【まとめ】

学生の頃、家庭教師派遣会社から紹介された生徒のところに行くと、  
「どうしてこの生徒は集中力が少ないのに、  
こんなに授業時間が長い契約にしたんだろうか??」  
首を傾げたくなるのがたくさんあました。  
それはやはり学習アドバイザーの言われるがままに契約していたようです。

学習アドバイザーは  
なるべくたくさん授業受けてもらって、たくさん儲けたいのです。  
もし成績が振るわないのに、  
週2回120分以上を勧めてきた学習アドバイザーの場合、  
はっきり言って、その業者とは契約しない方が無難でしょう。  
金儲けのことしか考えていない業者である可能性が高いです。  
目安として、私の経験から、長期休暇でもなければ、  
どんなに中学生が頑張っても、いきなり120分以上の授業は無理です。  
良心的な学習アドバイザーは、生徒の状態を的確に見極めて、  
公立小中学校の平均以下の成績なら  
週2回60～90分ぐらいからスタートするはずですよ。  
無理のない指導時間と回数の方が逆に長期間の授業の継続ができて、  
結果として業者の安定した利益になることをアドバイザーは知っているからです。  
また保護者の方は家庭教師や個別指導等の自主学習型塾でも、  
入会する時に「どのくらい学習するのか??」と授業時間を決める際は、  
学習アドバイザーの言葉に気をつけましょう。  
つまり学習アドバイザーの言いなりにならないことです。  
保護者の方が子どもさんの学習状況や性格を見極め、  
授業時間の目安を作っておくことが事前準備が必要になってきます。